

第3回中心市街地市民意見聴取会 アンケート集計結果

1. 調査方法

(1) 調査対象

・第3回中心市街地市民意見聴取会に参加された方・・・100人

(2) 回収方法

・第3回中心市街地市民意見聴取会の終了後、回収箱を設置して回収した。

(3) 回答総数

・回収したアンケート票・・・・・・・・・・・・・・・・・・65人

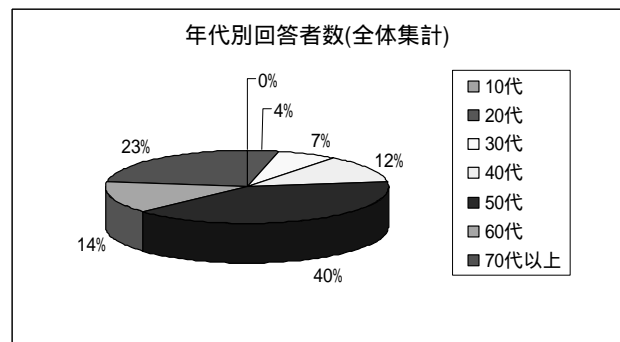
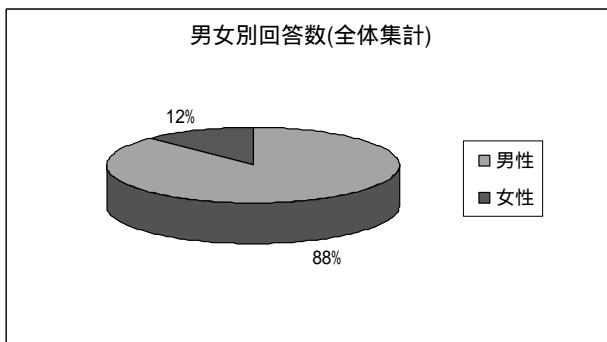
2. 設問に対する集計結果

(1) 設問1 あなたの性別は、 男性、 女性

・ 男性 57人(88%)、 女性 8人(12%)

(2) 設問2 あなたの年齢は、 10代、 20代、 30代、 40代、 50代、 60代、 70代以上

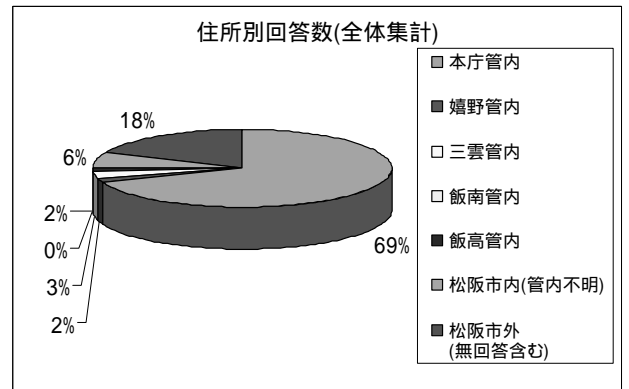
区分	全 体		
	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	2	0	2
30代	4	0	4
40代	7	2	9
50代	23	2	25
60代	8	1	9
70代以上	13	3	16
計	57	8	65



(3)設問3 あなたのお住まいは、松阪市(町)、その他()

お住まい別回答数一覧表

管内別	男性	女性	計
本庁管内 (中心市街地)	39 (16)	6 (4)	45 (20)
嬉野管内	0	1	1
三雲管内	2	0	2
飯南管内	0	0	0
飯高管内	1	0	1
松阪市内(管内不明)	4	0	4
松阪市内 小計	46	7	53
松阪市外(無回答含む)	11	1	12
計	57	8	65

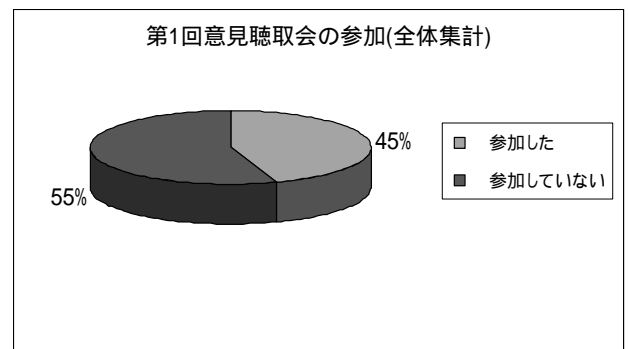


(4)設問4 (第1回)意見聴取会は参加されましたか。

参加した、参加していない

第1回参加について

満足度	全体		
	男性	女性	計
参加した	26	3	29
参加していない	31	5	36
計	57	8	65

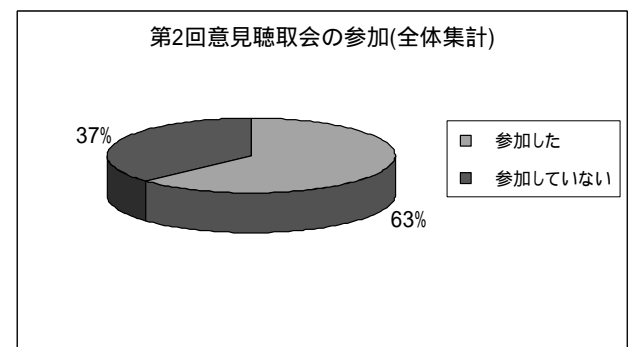


(5)設問5 (第2回)意見聴取会は参加されましたか。

参加した、参加していない

第2回参加について

満足度	全体		
	男性	女性	計
参加した	37	4	41
参加していない	20	4	24
計	57	8	65

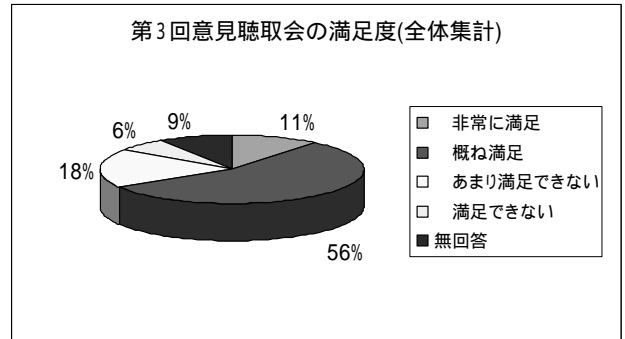


(6)設問6 本日の意見聴取会はどうでしたか。

非常に満足、 概ね満足、 あまり満足できない、 満足できない

意見聴取会の満足度

満足度	全体		
	男性	女性	計
非常に満足	6	1	7
概ね満足	33	3	36
あまり満足できない	9	3	12
満足できない	3	1	4
無回答	6	0	6
計	57	8	65

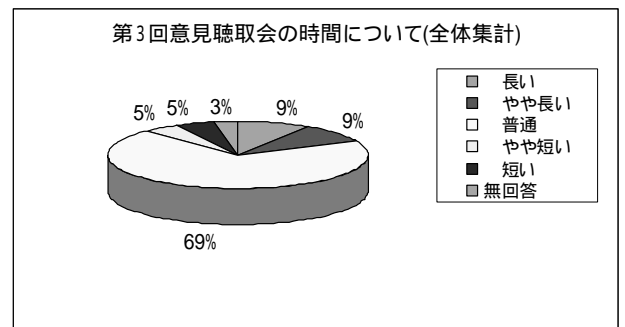


(7)設問7 本日の意見聴取会の時間はどうでしたか。

長い、 やや長い、 普通、 やや短い、 短い

意見聴取会の時間について

時間	全体		
	男性	女性	計
長い	5	1	6
やや長い	5	1	6
普通	40	5	45
やや短い	2	1	3
短い	3	0	3
無回答	2	0	2
計	57	8	65



3. アンケートの自由意見について

第3回意見聴取会のアンケートで回答をいただいたご意見を下記項目に分類整理しました。

意見聴取会アンケートにより回答いただいたご意見(40通)

アンケート自由意見等の分類カテゴリー	
(1)	【まちなか再生プラン(案)】に対する意見・要望 ・【全般】に対する意見・要望 ・【取り組み1:歴史の物語を温めるまちづくり】に対する意見・要望 ・【取り組み2:賑わい活力のある元気な商店街づくり】に対する意見・要望 ・【取り組み3:松阪グルメを感じさせる食の魅力づくり】に対する意見・要望 ・【取り組み4:松阪駅周辺のリニューアル】に対する意見・要望
(2)	交通アクセスに関する意見・要望
(3)	市民アンケートに関する意見・要望
(4)	松阪市に対する要望や意見
(5)	その他意見

(1) まちなか再生プラン（案）に対する意見・要望

意見の要約

・再生プランを評価するご意見、再生プランに生活者の視点を追加するご要望、松阪の歴史と文化の保存・活用を推進するご意見、駅西再開発事業の検証を求めるとご意見などでした。

寄せられたご意見

【再生プラン（案）：全般】に対する意見・要望

再生プラン案を見て、交流人口を増やすためのメインがなく、これでは寂れてしまう。メインがあって、このプランがぶら下がることで交流人口が増え、活性化につながる。また、交流人口の増加に伴い緊急避難場所の明確化も併せて都市計画に必要なものである。住民の方には避難場所がわかっているが、観光客、買物客等にもわかる案内板が、今後必要である。又、再生プランを実行するためには、民間のプロジェクトが、今後必要であると思う。駅西地区の話がかなりあったが、方向性が決まれば官民一体で話ができるのではないかと。市民ファンドもその一つの方法だと思います。官民のプロジェクトが必要である。

再生プランを見て非常にバランスの取れた案だと思います。しかし、バランスがあるだけに見えてこない部分があります。一つはターゲットです。市民のためなのか、観光客の誘客なのかが見えません。つまり、誰のためなのか、男性なのか、女性なのか、個人なのか、グループなのか、ファミリーなのか、年齢は、そのターゲットが見えていないので、PR するとなった時に、どのような手段を取るのかという問題が解決しないと思います。次に、前述した PR です。活性化をどう考えるかを言う部分にもなりますが、活性化とは市民、観光客を問わず、人があふれている状態ではないかだと思います。そのためには、魅力的なお店、魅力的な施設が必要だと思います。しかし、企業や店舗を誘致する場合、そこに人が居るのか？という問題が出てきます。このように活性化する場合、卵が先か鶏が先かの問題があります。また、魅力的な街でなければ PR しても効果はないですし、PR の素材にもなりません。この再生プランには PR と書いてありますが、誰に（ターゲット）、何を（材料）、どのように（手段）PR し、どういった効果があるかが見えてきません。最後に公共性の考え方です。このプランのバランスは公共性をメインにした結果ではないかだと思います。この公共性ですが、どこか一ヶ所が突き抜けて発展し、そこから松阪全体に波及させるという考え方は、公共性ではないかという疑問もあります。背景も状況もまったく違う場所を横並びでというのは不可能、5 年、10 年のビジョンを持ってターゲット、波及などイメージを持ったプランが必要だと思います。

トータルコーディネートを望む。本日の再生プラン、正に温故知新そのものに見えます。いろいろ計画や施策があろうが、トータルで、何でこんな中心地になったのかを検証し、行政として検証を持ってください。その上で、これらの施策が生まれるものです。駅西の失敗、その前の再開発、商店街連合会と商工会議所のことを、行政として、この再生プランに必ず追加してください。当事者がいちばんわかっています。地場のフィナンシャルバランス（財政バランス）をしっかりと検討して税が入るように考えてくだ

さい。「なぜなぜ」を「4M1E」でしっかりと検証して、ゆっくりと時間をかけて行なってください。二度と失敗を繰り返さないように糧としてほしい。大不況時代、他に優先順位もあります。

第2回意見聴取会で提案があった「トータルコーディネートで松阪木綿」が良いと思います。もっと緑を増やすと良いと思います。駅前駐車場の整備、市営駐車場の拡大（駅西地区）も賛成です。止めやすい広い駐車場と格安な商品や品の良いサービスがあれば三交百貨店ももっと続いて良かったと思います。もうこれ以上、郊外の田や里山を削らずに、駅中心にもっともってくと良いと思います。もし、新しい街路灯など作る時はリーラ灯なども考えては。

「まちなか再生プラン（案）」については、ほぼ賛成であったが、生活者のことを考えたところも、もう少し入れていただければ。

住民（生活者）の視点が大切だと強く感じます。

「まちづくり」を、住民、市民、観光客その他人が集まる為に必要な事ターゲットとなる年齢層を設定、この流れで考える。人がコンスタントに集まる施設（大型ショッピングセンターはNG）、例えば、車で集まらない年齢層をターゲットにする。「子供～学生の為のまちづくり」学校又は学校の教室・塾等 日中の人口増加と安定した消費が期待出来る。「公共交通（電車、バス）で通えるまちづくり」ECO。このまちづくりで、若者向きの商業（服・趣味）が生まれる。商業価値が上がる。店が集まり人が集まる。松阪が栄える（松阪が栄えていた時代には、市内に子供がたくさんいて学校や商店があった）。コンペによるまちづくりをする。たくさんの案を基に方向性を定めて実施計画をつくる。

商店街の空地や空店舗を小さな公園化にしてはどうか。例えば、空地（一度松阪市が買い上げる）を地域のコミュニティー、観光客の休憩場、イベント広場として活用できる小さな公園にする。空店舗を各町の歴史博物館として開設したり、街角ギャラリーなどに活用する。また、各町のお神輿の展示場として利用するのも面白い。空き店舗を100%埋めるのはなかなか難しいと思うので、まちなか緑化によるイメージアップが良いのでは。

観光客に対しての整備ですか？私達市民が、毎日の生活の買物をする事が出来ない駅前を活性化してほしいです。以前は高校生が駅前で時間待ちをしていましたが、今は姿を見かけません。高校生が集う店がほしいです。主婦が毎日買物をする店がほしいです。駅で時間待ちする軽昼食店がほしいです。手土産を買う店があるといいです。

今日の「まちなか再生プラン」は、中心市街地活性化を検討されてきた結果なのか。2年前から検討されてきたと思うが。

この再生プランは素晴らしいと思います。ただ、全部市長が進めるのですか。2人の副市長制や「観光カリスマ」（一例）と言われるような人材登用を考えないのですか。

総論、賛成。各論、まだまだ問題が多い。市当局の皆さん頑張ってください。

【取り組み1：歴史の物語を温めるまちづくり】に対するもの

まちづくりについて、松阪市の地域住宅計画（ホープ計画）による、まちづくりはどうかになりましたか。提案された方向付けが今のまちづくりに活かされているのか。単なる行政の事業ではなく市民に浸透させながら継続していくことが大切だと思う。伝統的な町家の保全活用のあり方等を所有者と話し合いながら松阪らしさを大切にしていってほしい。

取り組み 松阪城跡など観光スポットを巡りやすくする為に、昔行なった事があるのですが、山口県の萩市のような乗合タクシー（格安）やレンタル自転車などを駅前の観光協会に借りて回れるようにすれば、夏休みなど若い人が来るかもしれません。貸傘もしては、1日500円でEVカーを、市内を回するのに貸し出す観光協会もあるとテレビのニュースで見ました。

松阪市には長い歴史の中で育まれてきた多くの文化的な資産があり、今回の松阪まちなか再生プラン（案）においても、松阪らしさがある歴史文化を活かしていくという方向性であるとのことである。松阪市には、様々な歴史文化があるが、例えば、よくこうした場面で引き合いに出される蒲生氏郷について考えると、どれだけ氏郷の遺産が残されているのか疑問に思う。松阪の観光案内で、よく天正16年、四五百の森に松阪城を築き、松阪400年の礎とした故郷の江州日野から日野商人を呼び戻せ、楽市楽座を始めて商業を奨励したと書かれている。もう少し氏郷の出自から考えると、平将門の乱を平定した藤原秀郷を祖として、長く近江の豪族として、後には、佐々木六角氏の武将となっていたが、六角氏が織田信長に敗れ、織田氏に従属した事から、岐阜に人質として幼年時代を過ごしたことが大きく影響して、織田信長の戦法のみならず、その都市経営に傾倒した事がある。氏郷は、父親の賢秀の後を継いで日野城主となったが、小牧長久手の戦功に伴い加護を受け、松ヶ島城主に封され、その城が海に近過ぎること等から、これを廃し、松阪を開府したが、本能寺の変で焼死した信長の後、豊臣秀吉に就いて、小田原攻めにおもむいたまま、会津若松に転封されたのが天正18年という事で在外松阪での治政に特筆されるものが無かったのではないかと考えられる。日野商人の日野町だけでなく、伊勢の大添から海運業者を連れてきて、湊町、又、飯高郡平生（現在の狹師町平尾）から、旅館業を営む人を招き、平生町をというまちづくりを図った。会津若松では、更にこれらの考えを高めていった。今、松阪と会津若松との相違点はその精神性であり、単に構造物を文化遺産として考えるべきでないのではないかと。会津若松の「什の掟」に端を発する「NN運動」は、今も続いていると聞いている。是非参考にしてほしい。

松阪の原風景は、松阪城跡、御城番屋敷、同心町、魚町1丁目、本町1丁目、阪内川、堀阪山にあります（原点）。松阪歴史民族資料館の保存活用に努める。内容の充実を重点とする。白粉町の見直しを行う。特に来迎寺、樹敬寺、志田邸、浅間社（昔の浅間の森のなごり）、医師会館、船谷邸（明治末か大正初めの建築物）、大野漢方薬店を中心とする町ゾーン（町並み）の保存と活用。和歌山街道の大黒田町の町並み保存（バイパス道路の開通で残った貴重な町並み）。駅前西開発や商店街の活性化については、土地や建物の所有者が「生き残り」をかけて真剣に取り組むべきだ。原点は「どう生きるか」です。自分達の問題です。

地域の歴史文化を動画にして、YouTubeにアップする事で地元の方も勉強ができ、他地域

の方へのPRにもなる。書籍情報を動画情報へ変換することで訴求力を上げる。廃屋、廃店舗を更地にする補助金を出し、公園化で美観を確保する。

【取り組み2：賑わい活力のある元気な商店街づくり】に対する意見・要望

観光及び商業関係の再生プランについては、市民からの意見を聞くまでも無く、ほとんどが既に言われている内容であり、提案になっていない。もう少し具体策を示すべきである。大河ドラマの話とB-1 グランプリは市長が自ら提案された内容であり、今回の意見聴取会が無くても、同じ内容になったのではないか。数百万円の税金を使うだけの成果は出すべきである。

【取り組み3：松阪グルメを感じさせる食の魅力づくり】に対する意見・要望

以前あったような、三交百貨店の地下のような場所を三交の跡地の駅の方へ、1F、2Fと造り、共にホームとつなげると、そこではお土産品やご当地グルメも食べられて、又、ちょっと休憩も出来てとっても良いと思います（広すぎると疲れる）。これは、三交や近鉄と話合わないと実現しませんが、観光協会側に出来れば良いと思います。当店も少しでも出店をしたいと思います。今の商店街の中では売上げも出ず経営苦です。

【取り組み4：松阪駅周辺のリニューアル】に対する意見・要望

駅前広場の改修が、基本的に前と同じデザインなのが気になります。今のままで使い勝手が良いかどうか。また、タクシー、バス、送迎車両などの位置がどうなるかについても、今後、検討されるのでしょうか。駅前には、やはり「町の顔」だと思います。都市計画決定を外すにしても、今後も市の関与は必要だと思います。

松阪駅前広場について、2回目の聴取会の際、イベント広場をつくるか、市場ができるようにとか、様々な意見が出ていました。現状のリニューアルだけでなく、もう少し松阪の顔に少しでもなるように、検討して頂きたいと思います。

松阪駅周辺については、商業施設の要望が多いが、駅前には三交百貨店という大規模商業施設が撤退した場所であり、市として優遇制度等を講じなければ誘致は難しいと考える。駅の南と北を結んでいる連絡通路について、駅前開発にこれを含めて考える必要があると思います。駅前で発着する長距離バス等を全部、駅北に移せるのではないかと。

駅西再開発の失敗の要因は、市が民間と協働しようとして進めた事である。市が介入していると、良い意味でも悪い意味でも特定の声の大きい人の意見に左右される事が多い。この際、市は一切係らず、民間主導で進めてはどうか。乱開発になるのでは。という懸念もあるが、公序良俗に反しない限り、どうこうすべきではない。

松阪駅西地区再開発については、都市計画決定を行なった時点と、現在、松阪のおかれた状況に大きな変化はない。当時、市は事業を進めるために公共施設の導入を検討されたと思うが、今更、都市計画決定を外して民間開発を期待するというのは単に、行政の施策の失敗を認めたということではないか。現在は民間で開発が進む状況ではないと思うが、このような方向を出されるのは、市として何か思惑があるのか（出店希望の事業者がいる等）。

松阪市街地、駅西地区の整備について、何年計画で行うのか具体的に教えてほしい。

都市計画決定は外すだけでよいのか。次のビジョンが必要ではないか。

過半数以上が賛同したのに対し、松阪市はそれでも反故にしてしまうのか。

(2) 交通アクセスに関する意見・要望

意見の要約

・現在のコミュニティバスについてサービスの拡充を要望するご意見でした。

寄せられたご意見

市内交通について、現在のコミュニティバスを市電（広島・長崎・岐阜 etc）の様に充実して（本数を充実する）、市内に入る自動車を駐車場を設けて抑制する。特に、駅前から中心商店街にかけては、横浜の元町商店街のような道路構造にして、コミュニティバスを優先通行にはいかがでしょうか。また、コミュニティバスと三交循環バスが併走しているが、一本化できないだろうか。例えば悪いが縦割り行政の典型のように思える。

(3) 市民アンケートに関する意見・要望

意見の要約

・市民アンケート結果は想定されたものであり、その必要性に疑問を唱えるご意見、また、アンケート対象者を増加させるご提案でした。

寄せられたご意見

市民アンケート結果については、アンケートを行なわなくても想定されたものであり、お金をかけてまで実施する意味があったのか検証すべきである。

市の担当職員の説明は、年配の人にも分かり易いゆっくりとした説明であったので90点。先日、私の地区で行われた市長との懇談会では、都市の話のスライド説明が早すぎて雑でした。30代の私がやっとついていけるペースでした。3,000人アンケートの件は知っていて、その努力に敬意。60%ほどの回答なら「全市民の1%は（市長の口癖）」確保と思っていたら（42.7%）は少ない。予算の関係はあるかも知れませんが、アンケートは5,000人にしては。

(4) 松阪市に対する意見・要望

意見の要約

・行政のみでなく、市民参加で議論を進めることを望むご意見、また、旧4町での意見聴取会の開催を望むご意見でした。

寄せられたご意見

公（行政）のみで進めないで、市民参加（大衆討議ではなく）の型をとって進めて欲しい。すなわち、市民に納得できる型にしてほしい。

駅西地区再開発がテーマということもあり、駅周辺の住民（殿町・本町）や地権者、商店街のメンバーが多かった。思いきって、駅がテーマであっても、旧4町での開催を検討してはどうか。3回とも質問する人が偏っていた。駅は駅周辺の住民だけでなく、17万市民全員のもので。来年以降、地方での開催を希望します。3回の開催は一定の成果はあったと思います（すべて含む）。テーマは何でもいいので、月1回は持ち回りで（場

所や担当者)開催されては。行政チャンネルでの放送を議会みたいにやってもらい、遠方の人にも見てもらう。

まず、市職員が松阪の歴史を学びましょう。

ソフト面に公共投資をするのであれば、まず、人の育成を考えて欲しいです。市民の大多数が、松阪を好きになって愛着を持ってもらうことが大事だと思います。最近の風潮として、言ったもの勝ちみたいなモラルの低下、マナーの低下で自分勝手な人が多い様に見受けられます。そんな人たちが多町(まち)に住んで楽しいでしょうか?人が集まるとは思えません。まずは人だと思います。どういう方向でやっていくかは市長に賛同出来ますので考えてもらいたいです。

山中市長、よいまちづくりを頑張ってください。

(5) 意見聴取会に対する意見・要望

意見の要約

・意見聴取会の開催を評価するご意見、参加者の年代が偏っており、若い世代の参加を望むご意見でした。

寄せられたご意見

大変貴重な意見を聞くことができ、参加させていただき良かったと思います。ただ、年配の方の意見は聞けたのですが、松阪市を良くするためには、私たち若い世代の事も考えてほしいので、若い世代の人たちが意見を言い合えるような場を設けていただければありがたいと思います。

私は3回の意見聴取会を通じて感じるのは、出席する市民の顔ぶれが決まっている事です。10代、20代、30代の市民の出席者が少ない。私は43の小学校区で、ほぼ同じ時期に市民への意見聴取会を開催して幅広い年齢層の市民の意見を聞くべきであると考えます。

聴取の年齢が高い。20代~40代のこれから松阪市を変える人の意見も聴取者であれば良い。本気で考えないとバラバラになる。

最後まで生活者の視点での生活基盤づくりによる市街地活性化のプランの検討が抜けていました。1~3回とも若者や女性の参加が少ないのが気になりました。

今回の意見聴取会は、市がたたき台を示したので、市民の意向を打診しやすかったというプラスの評価です。

今回(3回)で最終ですか。もう少し続けてください。

過去の議論も含め、オール松阪市の活性化議論の見地であり、駅周辺、つまり、まちなか活性化議論がずれていると思う。前の机に並ぶ市幹部にも、参加者にも、その認識が感じられない。人が集う中心市街地でなければ活性化につながらないという観点で議論されるべきであったのではないか。まず、流入観光客の集客より、松阪市民の生活者が集う「まちなかづくり」を第一義的に議論を進めなければ、ぼけた議論になるのではないか(B-1グルメ、大河ドラマetcの提案)。

観光案内が駅を降りてわかりにくい。土産物店がない。駅前の商店街の方々と何回話し合いをされました?回答をしているように見えますが、真剣にしているとは思いま

せんでした。次回、回答を下さい。これから時間の許す限り話し合いをしてほしい。

コーディネーターは発言に対し、特に、部長とか商工会議所の話が逸れた場合、ピシッと打ち切るメリハリが必要。長いとか短いとかというより、展開の骨格を重視する手法の確立を。

座長の × 質問で、× の理由は、松阪市民は 17 万人いるから、ごく一部の意見を反映するのは × です（毎回メンバーが似ていた。旧 4 町でもやってほしい）。

今回、来ることが出来なかった方の声は、テーマ別ブログ（一般公開型）でコメントを募集してもいいのでは。

(6) その他の意見

寄せられたご意見

市の事業提案に対して、市民の意見等があまりにもお粗末です。私的意見ばかりで、もう少し対極的な議論が必要です。また、もっと若い世代の意見が聞きたい（出席者の年齢が高過ぎる）。

ホテルでもマンションでも、そこを利用するのは市民ではない。計画の中にあった保健医療福祉総合センターにしても、大方の認識は「病院をつくる」ということである。そうではないという理解を得る努力が、他のことでも不足していると思う。かつて、市民の中には、松阪のような小さな町に、東京にでも無いような下水道をつくるなどは「非常識」という声があった。市民のレベル、知識等というのは行政が考えるほど一部を除いては高いものではない。理解を求める努力は必要だが、ある程度は無視して進める必要がある。観光ポスターを九州地域等に掲示するのは無駄だという今日の意見は無視しても良いと思う。

まちづくりを考えるこの会に、市民があふれかえる様な活気が生まれる松阪にしていきたいと考えています。もてなしの心がある市民になっていく様に考えて欲しいです。

市民の若者が聴取会に参加・出席できるようにしなければ、まちの活性化はないと思います。市民の協力がもっと必要だと感じました。

商店街、商工会議所は他人事、行政任せに感じた。芹澤先生、そろそろ限界では？ ビジョンが見えない。

今の準備（政策の到達）ではこれくらいのものでしょうか。コーディネーター、パネリストは理屈を言うんなら、自分の提案を一つくらい言ったらどうかと思うよ。

生活者視点で中心市街地活性化とは？生活者は市内在住している人です。その人達で活性化出来なかったのです。市外部の人が来てくれて活性化するものだと思います。現在ある資源の再活用を考えることにより、賑わいが出来れば駅前商店街から活性化されると思う。

以上